



城上幼稚園だより

「山と川と人とつながるたくましい子ども」

令和6年10月18日（金）発行

TEL 30-2155

すくすく

「笑顔でキバッタ！！ 全力を出しきった！！ 心に残る城上大運動会」

園長 米丸 寛之

10月6日（日）、「城上小学校・幼稚園、地区民合同の秋季大運動会」を5年ぶりに開催しました。園児たちが保護者と一緒に競技している姿は、安心感に包まれたステキな笑顔でとても可愛く、また、選手宣誓を堂々と述べている姿や歯を食いしばって頑張っている姿は、とてもかっこよく、大きく見えました。大会スローガンの「笑顔でキバレ、全力を出しきり、心に残る城上大運動会」が見事達成されたことを実感できた園児たちのパフォーマンスは、最高で、大変感動しました。

運動会の感想を清田・福崎教諭が園児一人一人に聞きました。

- 市井瀬 鷹 さん：綱引きで おもいきり 引っ張ったのが 楽しかった。
- 内村 碧仁 さん：親子ダンスを みんなで踊ったのが 楽しかった。
- 大瀬 湊仁 さん：かけっこで 力いっぱい走ったことが 楽しかった。
- 下大迫輝月 さん：みんなで 綱引きをしたのが 楽しかった。
- 手島 紬 さん：かけっこで みんなと一緒に走ったのが 楽しかった。

保護者や地域等の皆様には、体調管理やモチベーションの向上等、本番まで導いてくださり、また、本番も温かい声援や拍手等を送っていただき、大変ありがとうございました。

次の大きな舞台は、11月9日（土）に開催予定の「小学校との合同学習発表会」となります。現在、本格的な練習が始まっています。園児たちの新たな姿を、楽しみにしててください。

「親子20分間読書」運動～本がひらく わたしの未来～

今年度からスタートした「親子20分間読書」運動、御家庭での取組はいかがでしょうか？

南日本新聞オセモコ欄の「かごしま探検の会東川美和さん『やっぱり石碑好き』」のコーナーで、8月2日に「親子20分間読書」に関する内容が掲載されました。

「親子20分間読書」は、さつま町にある旧流水小学校が「親と子が一緒になって読書する習慣を」ということを目的に1959年に実験的に始まりました。当時の堀内徹校長先生と県立図書館の棕鳩十館長（児童文学作家）が、アメリカの読書運動を視察した経験から読書力の必要性を痛感して始めた活動でした。結果、読書量が増え、親と子が読書を通じて共通の話題を持てるようになっていきました。

旧流水小学校には「親子20分間読書発祥の地」記念碑があるとの内容も記載されて

いましたので、記念碑を見たいという気持ちが抑えられず、先日見に行きました。



平成17年に建立された記念碑は大変存在感のあるもので、読書運動をずっと大切にされ、記念碑のあるこの場所から「親子20分間読書」運動が全国へ広まったことを思うと感慨深いものがありました。

棕鳩十さんは「人間は一人一人すばらしい力を持っている。その力を出すために勉強しているんだよ」という言葉を残し、その1つの取組に読書を挙げられていました。

さあ、秋真ただ中。

「いつから読む？」

「今でしょ！！」



